

Volume 20  
June 2002

4

# JAPAN REGION



年次大会特集号  
Special Number on Region Annual Conference

—— 目 次 ——

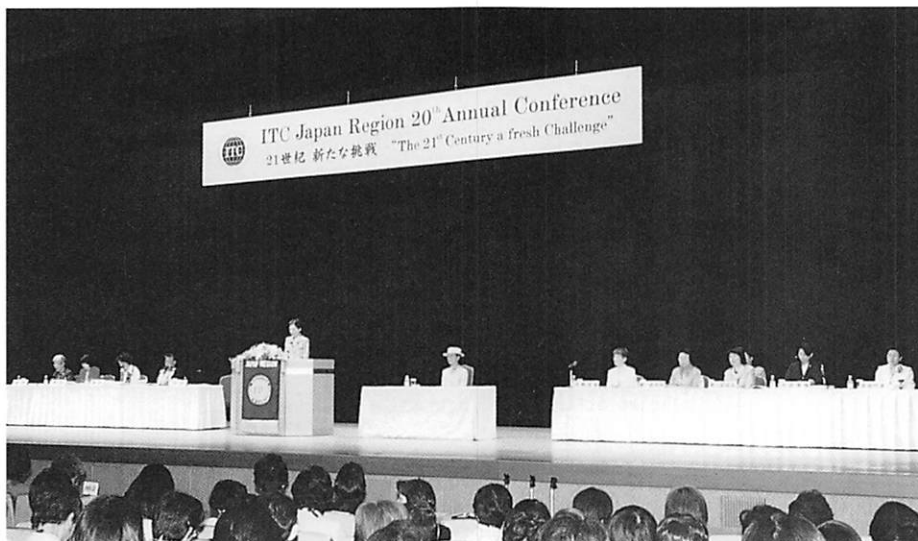
*Table of Contents*

*Vol.20, No. 4 June 2002*

大会テーマ、ITC・リージョンテーマ .....	Conference Theme, 2001-2002 Themes	1
日本リージョン会長基調演説 .....	Japan Region President's Keynote Speech	2
ITC ニュースと視点 .....	ITC News and Views	4
日本リージョン会則・常規及び決議 .....Amendments to Japan Region Bylaws・Standing Rules and Resolution		5
第20期日本リージョン年次報告、役員会よりのお知らせ .....The 20 <sup>th</sup> Japan Region Annual Report, Information from Region Board		6
大会プログラム第一日		
CMT、PEP I、セレブレーションパーティ.....	CMT, PEP I, Celebration Party	8
大会プログラム第二日		
開会式、事務会議、スピーチコンテスト(英語) ..... Opening Ceremony, Business, Speech Contest(English)		9
教育セッション .....	Training Sessions	10
晩餐会、歴代会長紹介 .....	Banquet, Introduction of Successive Presidents	12
大会プログラム第三日		
記念プログラム .....	Memorial Programs for the 20 <sup>th</sup> Anniversary	13
スピーチコンテスト(日本語)、役員就任式 .....	Speech Contest(Japanese), Installation	14
表彰、大会コーディネーターから.....	Awards, From Coordinator	15
大会を終えて .....	The 20 <sup>th</sup> Japan Region Officers' Thoughts	16
補正予算.....	Revised Budget	17

# 日本リージョン第20期年次大会

*Japan Region the 20<sup>th</sup> Conference*



開会式

「海の碧」

“Sapphire blue of the Sea”

ITC テーマ

*2001-2002 ITC Theme*

“Building for the future”

日本リージョン第20期テーマ

*2001-2002 Japan Region Theme*

「21世紀 新たな挑戦」

“The 21<sup>st</sup> Century a Fresh Challenge”



## 第 20 回 ITC 日本リージョン年次大会基調演説 *Japan Region President's Keynote Speech*



リージョン会長 泉 和 子

会員の皆様、今期の日本リージョンが、さあ、これから「21 世紀 新たな挑戦」というテーマを掲げて、その扉を開けた矢先の同時多発テロの勃発は、地球上のもの全てを恐怖に巻き込み、この ITC にさえ影響を及ぼさないかと不安を感じたものでございます。

しかし、今期、創立 20 年目を迎えた日本リージョンは、そのような影響を考える暇もなく、成さなければならない沢山のことを抱えておりました。

ITC が社会の為に役立つようにと言われて、はや久しい感がありますが、時代が変化した現在、ITC が社会の中の成熟した組織でなければ、世界の仲間入りも出来ないのではないかと、又、世界中の人々とコミュニケーションを取るために、何が出来るかを考えるだけではなく、何としてもその実践が大切だと考えました。それには、一つには、人と人とのコミュニケーションの充実を通して、研ぎ澄まされたリーダーシップの根源を備えた社会人を養成することを実践することだと思います。このことは、ITC では語り尽くされた事ですが、幅広いコミュニケーションと正しく実践されるリーダーシップの修練は、やり過ぎて不足ではないと考えます。これが、ITC での研修を有効なものにし、社会に貢献し、ひいては世界に平和をもたらす最大公約数だと思い、それを奨励しなければならないと、微力ながらも、その率先に務めたこの一年でした。

一方、1800 有余名の会員を率いての事務作業には、社会への追従と共に、経費削減と労力節減のためにコンピューター作業は必然的なものになりました。5 期前のリージョン会長が話された「近い将来オールクラブメーリングも E-メールで届くようになるでしょう」と言う言葉は、事実となって今期から実現致しました。その時初めて導入されたコンピューターは、その役目を終え、今期から新しい機種が事務局で活躍しております。

ITC 本部がメールを駆使し、ホームページ掲載を實踐してまいりました事を受けて、日本リージョンも同形態を取り、殆どの事務に E-メールを使い、日本リージョンホームページを最大限利用致しましたのが今期の役員会の仕事でございます。

その結果、郵送料を削減することができ、リージョンから送り届ける通信は、会員一人、一人がホームページを開けて見る事が出来ると言う変化をもたらしました。勿論、その反面には、コンピュータを扱わない会員のフォローを忘れないよう、カウンスル、クラブのお力添えを頂きながら気をつけて参りましたが、今後においても、コンピュータを扱わない会員の役員進出に支障をきたさないことへの配慮なども、改善、改革の指針にしていかなければならないと考えています。

今期は、多くの会員から E-メールで連絡やメッセージや質問を頂きました。E-メールだったからといって、そこにコミュニケーションは流れなかったかと言えば、決してそうではありませんでした。機械での会話が、むしろ気軽に相手に話しかけられたのではないのでしょうか。そこに親しみがわき、手紙や電話や出会いと同じようなコミュニケーションを発見したことは、私にとって喜びであり、又、今期の改革への自信にも繋がりました。

昨年の就任挨拶で、私は「物事が上手く行くことに近道はない」と申しました。今期も幾つかの長期と短期の目標をたてて、それらに向かって努力をしてまいりました。

- ・ E-メール利用の結果の事務経費の節減ができました。
- ・ 堅実な増設を打ち立て、金沢クラブと東京セントラルクラブが設立されたことは喜ばしい限りです。
- ・ 20 周年沿革史の発行とグリーンソングの翻訳は記念事業として完成致します。

その他の長期の目標は次期へと繋げて参りますが、これらは、全て会員の多大な努力によって、近道を歩み、その完成をここにご報告申し上げることが出来ますことをうれしく思います。

冒険家、堀江謙一氏は、世界中が平和を望んでいる中で、そして環境問題が地球に警告を発している現在「循環社会を目指す社会人の一人として、環境問題を世に知らしめるのは、当然のモラルです」と、今回は環境にやさしい材料でヨットを作り、満杯の風を帆に受けて、又太平洋一人旅に出発いたしました。

日本リージョンは、設立 20 周年を記念する今期の大会テーマを「海の碧」といたしました。「海」は未来を表すもの、又「碧」は、平和を象徴する色です。このすさんだ社会を明るく照らす意味も含め、全世界中で今一番好まれているという、又勿論 ITC カラーである碧を使い、神戸のイメージである海と青を重ねました。

今日、ここに全国から参集された多くの会員が、このテーマに、ITC の未来の希望を託して、沢山のコミュニケーションを船に積み込んで、神戸の海から ITC という大海原に洋々と船を漕ぎ出だすことを願って、会長の基調のご挨拶と致します。

## ITC ニュースと視点

*News and Views from ITC*



ITC 会長 アイリーン・ジョンソン

2001 年—2002 年期は ITC にとって、チャレンジと変革の年でした。ITC 役員は **Building for the Future** というテーマのもとに活動を開始し、テーマに沿って活動を続けました。

1. ITC のウェブサイトは現在のところ本部で運営されております。専門的なすばらしいサイトができあがりました。今年度、私どもはウェブサイトという通信手段を大いに使って、例えば会員に **All Club Mailing** をお届けいたしました。ウェブサイトに接続なさせて、ITC がどのような活動に取り組んでいるかごらんください。アクセスするには会員番号が必要です。会員カードに記載されていますのでお確かめ下さい。
2. 苦しい財政事情によって今期は 2 回だけの発行になっていますが、ITC Communicator は今期も会費によってまかなわれ、盛りだくさんな内容になっています。
3. マーケティングチームは、ITC 役員が渉外活動をしながら、ITC の需要を開拓しました。
4. 先の世界大会から **Speakers Bureau** が開始されました。ウェブサイトに参加方法が記載されています。
5. 会則修正案は世界大会で投票され、ビジネス会合の間 **Power Point** で表示されます。今回かなりの分量が修正されます。
6. 基金委員会は世界大会に向けて計画をたてました。
7. 2001 年 ITC 世界大会ピンを、大会期間中基金委員から買うことができます。
8. **PREM** チームはツールボックスをつくり、毎週オンライン会合を開催するなど、熱心に **PREM** 活動に取り組みました。
9. **Hands Around the World** (世界をつなごう) の派遣員は、クラブから世界大会への **on-site delegate** を引き受けています。
10. **Satellite Units** からグループを組織してクラブに昇格するというやり方が、今期も 100% の成功をもたらしました。
11. **Corporate Training Program** が設立されて一年です。このプログラムは充分機能が熟したものであり、もっと大勢の会員が **corporate trainer** になりたいと考えるようになると確信しております。
12. 本部執行部とそのチームは、本部のデータベースを最新版に改めることに全力を注ぎました。今年度は新しい書式を 4 月のオールクラブメイリングに同封いたしました。これは、クラブ、カウンシル、リージョンに名簿資料を依頼するためのものです。各レベルの役員選挙が終わり次第、これらの書類に書き込み、本部に提出してください。
13. レーザーポインターが ITC 物品目録の中の最新物品です。カタログで他の物品とご一緒にごらんになってください。
14. 世界大会はバハマ諸島のナッソーで 7 月 13 日から 16 日まで行われます。「バハマ諸島の体験」がテーマです。皆さまがたとバハマでお目にかかれることを願っております。



## 日本リージョン会則・常規修正及び決議 *Amendments to Japan Region Bylaws・Standing Rules and Resolution*

会則・決議委員長 奥田 小夜子

第20回日本リージョン大会に提出された日本リージョン会則の修正案6件及び常規の修正案2件は、大会に於いて審議の結果採択されました。従って、会則及び常規は、下記の記述となります。決議案は、修正の後、可決されました。

### 会則

1. 会則 第3条 会員 C項 境界線： 1.  
C項 境界線：
  1. ITC国際役員会は、リージョン役員会をとおして関係カウンスル及びクラブと協議の上リージョンの境界線をすることができる。
2. 会則 第4条 財務 B項 会費  
B項 会費：このリージョンの会費は常規に定められたとおりとし、8月1日又はそれ以前に支払われるもので、8月7日現在をもって滞納となる。納入された会費は返却されない。
3. 会則 第5条 選挙及び役員の任務 B項 資格 4 b.
  4. 第一副会長は
  - b. リージョン選出役員、リージョン任命役員、リージョン常任委員会の委員長のいずれかを最低一期務めた経験のあること。
4. 会則 第5条 選挙及び役員の任務 B項 資格 5 b.
  5. 第二副会長は
  - b. リージョン選出役員、リージョン任命役員、リージョン常任委員会の委員長のいずれかを最低一期務めた経験のあること。
5. 会則 第5条 選挙及び役員の任務 H項 役員の任務：5. 書記は c.
  - c. リージョン内のカウンスル役員名簿を保持する。
6. 会則 第9条 委員会とその任務 B項 常任委員会の任務：4. 会則・決議委員会「g.」を全文削除する。

### 常規

1. 常規 5. 書記： c.  
「c.」を全文削除する。
2. 常規 8. ITC日本リージョン事務局 (ITC JAPAN REGION OFFICE) a.
  - a. 事務局は大阪市北区豊崎3丁目10番2号に置く。

### 決議

ITC 日本リージョンでは、コミュニケーション方法などの大きな変化とともにこれを利用する多様な会員を持つクラブが増えているためリージョンおよびカウンスルの組織運営を引き続き考える必要があるがゆえに；そして 今年度中だけではこの委員会の目指す十分な成果が達成できる可能性がないがゆえに；よって 2001-2002会期に設けられた組織運営研究特別委員会を2002-2003会期も継続して設けることを決議する。



## 第20期 ITC 日本リージョン年次報告

*The 20<sup>th</sup> Japan Region Annual Report 2001-2002*

日本リージョン書記 立野 知津子

第20期日本リージョン役員会は、日本リージョン声明文を継承し、会則・常規及び役員会方針に基づき、泉和子会長のテーマ「21世紀 新たな挑戦」を実践するために、以下の活動を行なった。

### 長期目標

- ・ 伝達方法の合理化
- ・ 組織運営研究
- ・ 堅実な増設
- ・ 会員の増強

### 短期目標

- ・ 20周年記念事業
- ・ E-mailによる伝達方法の確立
- ・ 名簿形態の変更
- ・ グリーソンス翻訳完成
- ・ A-4サイズへの移行推進

### 1. クラブ数と会員状況

- ① 日本リージョンは、今期、8カウンスル、83クラブ、会員数1759名（内、重複会員21名）でスタートした。6月10日現在、日本リージョンのクラブ数85クラブ、会員数1847名（内、重複会員28名）である

### 2. 研修会報告

#### ① CMT (カウンスル運営研修会)

- ・ 第1回は2001年10月31日 京都タワーホテルにおいて2時間40分にわたり、13部門、118名が出席して開催された。
- ・ 第2回は2002年6月10日 神戸ポートピアホテルにおいて2時間 30分にわたり、13部門、127名が出席して開催した。

#### ② PEP (成果向上の為のプログラム)

- ・ PEP-I、フェイズ1は、2002年6月10日、神戸ポートピアホテルにおいて2時間にわたり、公式訪問者アイリーン ジョンソン ITC 国際会長により行なわれた。
- ・ PEP-I、フェイズ2 (リージョン新役員研修会) と新旧リージョン役員対象の今大会の評価が2002年6月12日、神戸ポートピアホテルにおいて、2時間にわたり公式訪問者によって行なわれた。

### 3. 主な活動報告

- ① 役員会は定足数のもと、現在までに11回、大阪・名古屋そして京都で開催された。通信役員会は、35回行われた。
- ② 8カウンスルへは年1回、6名の役員が公式訪問した。
- ③ リージョンメールは、会員の協力を得て、E-mail 連絡網で第1回・2回を送信し、以後第3回・4回は、リージョンホームページに掲載した。これによって、会員誰もが自由に見る事ができるようにした。
- ④ リージョンホームページには、各レベル会則、役員会たよりなどを掲載し、フレッシュな情報を伝えた。
- ⑤ パソコン初心者の方に「ITの利用の仕方」を作成し、各クラブに送信した。

### 4. その他の報告事項

- ① 諸事情を勘案して、役員会で事務局移転を決議し、全クラブ宛事務局移転通知を送信した。
- ② 事務局に新しいコンピューターが導入された。
- ③ リージョン会報は、年4回発行予定で、これまでに3回発行し全会員に配布された。

④グリソーンズの翻訳は現在、最終監修中である。

⑤委員会の主な活動

- ・会計監査・・・2002年4月18日に、中間報告を行った。
- ・増設・・・金沢クラブ・東京セントラルクラブの2クラブが増設された。
- ・20周年沿革史委員会は、20周年記念誌を編集中である。

第20期日本リージョン役員会は、泉和子会長のもと、テーマ「21世紀 新たな挑戦」と20周年記念の年であることを意識し、変革を目指して、前向きな姿勢で任務を遂行した。

- ⊗ 鳥取クラブ 甲斐 久子様 3月22日
  - ⊗ 岡山あくらクラブ 米倉ミチル様 5月10日
- 心からご冥福をお祈りいたします

### ～役員会よりのお知らせ～

第20回年次大会で報告済みの事柄ではありますが、改めて役員会よりお知らせします。

#### 1) 増設された二つの新クラブの詳細

##### 金沢クラブ

会長 不室 律子 所属カウンスルNo.6  
チャーターNo.3690 認証期日：2002年6月1日  
チャーター式典は2002年7月23日(火) 12:00～15:30  
金沢全日空ホテルにて開催予定です。

##### 東京セントラルクラブ

会長 嶋田 凱子 所属カウンスルNo.8  
チャーターNo.3691 認証期日：2002年6月1日

2) 大会で日本リージョン会則・常規の「常規8. ITC 日本リージョン事務局 a.」が修正されました。リージョン事務局の8月1日よりの新住所：

大阪市北区豊崎3丁目10番2号

なお、詳しい業務等については、来期早々に事務局よりお知らせ致します。

3) 組織運営研究委員会からの最終的な提言は、来期の委員会へ申し送りました。

4) セレブレーションパーティでのラッフルの収益金の純益、400,000円は、元ベトナム難民高等弁務官緒方貞子事務所を通じて「アフガン難民教育基金」に婦人教育の目的をもって寄付させて頂きました。ご協力を感謝しご報告致します。



## 大会プログラム第一日

### CMT

第20期日本リージョン年次大会は、127名参加者のもとカウンスル運営研修会から始まりました。村上次期会長の挨拶に続き、泉会長が「一年を通じて、伝達技術の乏しさを痛感しました。良く聴いて、良く考え、良く尋ねて次へ引き継ぐ事。正しいコミュニケーションを行ってリーダーは正しく答えて下さい。この研修会では、正しく学んで正しい知識を持って行って下さい。」と提言されました。つづいて部門毎に研修が行われ、活発に意見交換がなされました。

### PEPI

アイリーン・ジョンソン ITC 会長は、スライドを使って「影響力」について教育されました。資料作成はヒラリー・ブラウン ITC 次期会長。「影響力」とは相手を思いのままにあなたの考えや主導権を握ることに賛成させたり、喜んで受け入れさせたりすること。また目標を達成しようと相手の支持や参加を得る手順でもあります。人々に影響力を及ぼすための九つの戦術を紹介し、その方法を使ってあなた自身の目標に到達するよう努力して下さい。と結ばれました。

### セレブレーションパーティ祝祭の時間

セレブレーションパーティ委員長 国京よしみ

大会第1日目夜「祝祭の時間」としてのセレブレーションパーティを8カウンスルからの出演タイムと、ラッフル券の抽選と収益をアフガンの女性の教育のために寄付するというラッフルタイムですごしました。皆様のご協力で多額の収益を上げることも出来ました。

出演タイムは各カウンスルよりのエンターテナーの皆様による舞台上、アイリーン・ジョンソン ITC 会長から「私はこれから日本のメンバーを決してシャイだと思わない」という感想を頂いたほど、会場が一つとなって楽しくなごやかな熱気溢れる時間となりました。場内は海をイメージし、ブルーの照明とイルカなどのバルーンでデコレーションしました。ホテル工夫の食べ物、飲み物も好評でした。

またラッフルタイムでは特賞のサファイア煌めく腕時計は、舞子クラブの木村桂子さんが見事に手に入れられ、1等は JTB の旅行券、2等はフラワーギフト券、3等はサンバイザー、そして神戸賞には神戸ワインとペアグラスのセット、マキシンの帽子、ワールドカップサッカー日本のユニフォームが出ました。歴代のリージョン会長よりの歴代会長賞はそれぞれに魅力あるもので、これに当選された方はリージョンをより親しく感じられたことと思います。泉和子会長賞のきれいなブルーのハンドバッグはしらさぎクラブの坂井秀子さんに、この大会の思い出としていつまでも心に刻まれることでしょう。末尾賞は小さなかわいいもの。この夜パーティに参加されたかたは **Something Blue** を身につけて出席しました。まさしく海の碧の中にいるようなゆたかな時間でした。

## 大会プログラム第二日

ITC 名誉会員であらせられます高円宮妃久子殿下のご臨席を賜り、開会式、事務会議、スピーチコンテスト（英語）が行なわれました。

### 開会式

午前 10 時、それぞれのプラカードを手に、8 カウンシルの会長、85 クラブの会長、さらに ITC 公式訪問者が満場の拍手に迎えられ入場行進を行ないました。高円宮妃久子殿下からは、ITC 日本リージョン第 20 回年次大会開催のお祝いと、会員への激励のお言葉を頂戴いたしました。泉会長の基調演説に続き事務会議が行なわれました。

### 事務会議

泉会長（議長）のリードで粛々とスムーズに運営されました。派遣員資格確認報告、大会プログラム採択、年次報告、選挙委員会報告、会則・決議委員会報告等に続いて、会則修正案の審議が行なわれました。決議案の審議を残したものの、予定されていた修正案は全て可決されました。

### スピーチコンテスト（英語）

7名のそれぞれの予選を勝ち抜いてこられたコンテストナントにより、笑いあり、ペーソスありの個性豊かなスピーチが繰り広げられました。

#### —入賞者—

- |    |               |  |
|----|---------------|--|
| 1位 | 乙野靖子（北摂クラブ）   | Subject : Secret<br>Title : "A Gift from God"            |
| 2位 | 武津冷子（千種クラブ）   | Subject : Independent<br>Title : No more dependent Daddy |
| 3位 | 石尾メリッサ（筑波クラブ） | Subject : Curtain<br>Title : Another Word For Love       |



## 教育セッションレポート

### A ギアベルが鳴ったら

「ギアベルが鳴ったら・・・私にお任せください」

このワークショップには、議事法に関心があり、かなり、いえ大変勉強されている議事法に明るい会員が参加されたように思います。その熱意にプログラムリーダーとして皆様の前に座しているだけで、圧倒される感じでした。ワークショップリーダーのウィン・ボラさんは、ソフトにそして自信に満ちた声でリードされました。役員会・公式例会のロールプレイや各箇所の要約の読み上げなど、参加者を巻き込み、時間がアツという間に経ちました。参加者は説明に頷きながら、議事法の知識を再確認し、また質疑応答も活発で、大変前向きなワークショップでした。参加された会員は、きっと表題のように思われたことでしょう。

(井上明子)

### B 評価について

評価を行う側が心に留めておくべきことは、評価をすることには大きな責任があるということです。批判的であったり、人を傷つけるようなものであってはなりません。だからといって、すべて申し分ないというような評価は時間の無駄です。指摘すべき点は、別のやり方、改善への可能性を示して、指摘すべきです。受ける側は、一人の意見であることを心に留めつつ、与えられた見方、やり方の中から取り入れたいものを選び、自らの成長に役立てるべきです。聴衆は、自他の評価を比較できるよい勉強の機会ととらえるべきです。「評価なくして向上は望めない」ことを、印象的なロールプレイを通して学びました。

(和爾玲子)

### C 言葉の魅力と魔力

リーダー三村敦子様は言葉の魅力を「スピーチ」、魔力を「評価」と表現した後、まず、以下のような結論を述べられました。「言葉は語る人の心そのものであり、言葉でつむぎあげられたスピーチや評価は、その人の知性を表す、そして語る姿は今まで培ってその人の教養を表している。」

続いて6段階に分類されたスピーチ作成法とその実際についての説明があり、スピーカー一名（津田様）、評価者二名（米田様、西様）による実践、更に会場の皆様数名の即席スピーチ（二分間）が行われた。

「スピーチ」に求められるスピーカー自身から醸し出される表現力、プレゼンテーション（テクニックでなく）の重要性、「評価」の根底に築かれるべき深い誠実な信頼関係等、これからのスピーチ上達の道しるべが学べた有意義なワークショップとなりました。最後に三村様は豊富な経験にもとづかれた説得力のある流暢な話し方で聴衆を魅了しておられました。

(佐藤睦子)

#### D 笑いの研究

ここにアホが二人という話がありまして、お兄さんがアホで弟がアホちゆうんですが弟が夜、外で長い棒を振り回しておりまして、それをお兄ちゃんがみて、兄「なにしとんね？」弟「ああ、兄ちゃんか。いや、お星さんがあんまりきれいでな。取ろうと思うねんけどなかなか届かへんねん。」兄「アホやなあ。星さんちゆうのは高いところにあるねんで。そんなもんで届くかいな。屋根へ上がれ、屋根へ。」こんな具合に落語は突っ込みとぼけ役で噺が続くこと。道具は扇子と手拭だけ、あっち向いたりこっち向いたりと一人で何役も演じ分けるこつをリーダーの実演指導の元、にわか落語家が誕生。観客を沸かせました。  
(森下信代)

#### E 音楽が言葉を超えて伝えるもの

山本史郎先生をお招きし、ワークショップEは“音楽が言葉を超えて伝えるもの”を講演していただきました。

音楽好きな人達が110名ほど集まり、発声法の基礎、喉を弛緩させて正しい発声をする方法、また3つの音 例えば、ド ミ ソを基本にして伴奏をつけ作曲する方法等を勉強しました。

作曲、曲を作ることは常に音楽、絵画、詩、宗教、色々なものを見聞き、骨組みをつくり、肉をつけ、インスピレーションを働かせ、想像力を豊かにし、曲を作っていくのだと教えていただきました。

会員から3つの音を聞きだし、小作品を何曲か作曲し聞かせて下さいました。

私達は常にスピーチの勉強をしています。スピーチも作曲と一緒に骨組みをつくり、インスピレーションを高め、肉をつけて作り上げていくと良いスピーチが出来上がるのではないかと思いととても良い勉強になりました。  
(富田順子)

#### F もっと知りたいITC

入会間もない会員、チャーター式前の金沢クラブの会員、一般ゲスト、その中にベテラン会員を交えて、プログラムが行われました。

「ITCの目的と組織」「儀典とは」「役員会のあり方」を経験豊富なメンバーが解りやすく教育し、若い会員は興味深く聞きました。続いてのテーブルディスカッションは入会時の迷い、不安が本音で語られ、まるでクラブのように和気藹々の雰囲気でした。あるゲストが今日のプログラムを聞いて入会の決心をしたとの発表に、会場中拍手となりました。「学ぶことは教えること」今日の学びをクラブでどしどし活用しプログラムの和が広がりますことを期待します。  
(佐伯圭子)



歴代会長紹介—20年の重みを感じたひととき

Banquet



華麗なるメインテーブルの皆様



20期リージョン役員テーブル

エンターテインメント—すっかり魅了されました

## 大会プログラム第三日

高円宮妃久子殿下 御講演 テーマ 「Communication」



- ・ 私達はすばらしい感動のひとつきを体験する事が出来ました。
- ・ 久子殿下を ITC の名誉会員にお迎えしたからでしょうか、とても身近にご講演を伺うことが出来ました。また、妃殿下ご自身のアルバムをひも解かれたお話もとても親近感を覚えました。
- ・ 「Communication」のお題に沿ったご講演からは、妃殿下のご聡明さ、率直さ、博識かつ行動力を伺うことが出来、姿勢正しく上品なお身のこなし方、お声の調子全てが心地よく聴衆をひきつけ、予定時間もピタリとスピーチを終えられたことに感嘆の声が上がりました。
- ・ 高円宮様の神との1分間芸術のお話は、一生の記憶にとどめておきたい宝物のようなお話でした。
- ・ 「冰山ルイの旅」は、是非読ませていただきたいと思いました。
- ・ 「自然とのコミュニケーションの大切さ」を最後に提案され、私達は大きな宿題を頂きました。さっそく来期のクラブのプログラムに反映したいと考えております。
- ・ 最高のスピーチを聞かせていただきまして感動の拍手が鳴り止みません。  
—この他にも多数の賞賛の声が寄せられました—

## パネルディスカッション&フォーラム 「これからのITC」

- ・ 松下さんの日本リージョンの主張は誠に現状の大事な点を付かれています。大賛成です。
- ・ ITCの世界の情勢を聞くことが出来てよい機会でした。日本と世界の情勢が違うことがわかった。
- ・ 改正案について、日本全体の意見をまとめて、バハマへもって行く決心をしました。
- ・ 日本リージョンの意見・質問を直接ITC役員に伝え、また、ある程度の回答や情勢を得ることができて有意義でした。
- ・ ジーン・ターナーが日本リージョンが意見を一つにまとめてれば、世界大会に働きかけてくださるといって頂けたことが大きな収穫だと思う。
- ・ もっと多数の日本の会員が世界大会に参加して、会則修正にかかわるべきと感じた。
- ・ レベルの高いパネルディスカッション&フォーラムでした。

### スピーチコンテスト（日本語）

#### —入賞者—

- |    |            |                         |
|----|------------|-------------------------|
| 1位 | 桜井慶子（東京）   | 論題：結ぶ<br>題目：他生のご縁       |
| 2位 | 立石峯子（京都）   | 論題：改革<br>題目：人間は60からが面白い |
| 3位 | 江原恭子（しらさぎ） | 論題：宝物<br>題目：だれのチューリップ？  |

### 第21期日本リージョン役員就任式

就任役員—いよいよ始動です



## 年次大会における表彰

### フルメンバークラブ 11クラブ

カウンスルNo.1	錦	カウンスルNo.2	阪神
カウンスルNo.3	姫路	カウンスルNo.4	ひろしま 岡山
カウンスルNo.5	大阪 徳島	カウンスルNo.6	奈良 京都
カウンスルNo.7	倉吉	カウンスルNo.8	東京

### 特別表彰 16年間継続フルメンバー 最も会員数の増加したカウンスル

カウンスルNo.4	岡山	カウンスルNo.5	
-----------	----	-----------	--

### 20年継続会員

カウンスルNo.1	高阪公子(名古屋) 原誠子 平瀬暢子(錦) 芦原煌子 河津百合 小崎郁子 鍋島恵美(栄)
カウンスルNo.2	白村治子 八日市屋多栄子(神戸) 後藤蓉子 平岡英子 岩田洋子 石村夫紀子 長澤久子 西原久美子 柴田伊都子 酢谷道子 柳川公子(甲南)
カウンスルNo.3	丹下(り) (芦屋)
カウンスルNo.5	増田泰子 村瀬悦子 米田聿子 吉田和子(北大阪)
カウンスルNo.6	藤原文子 端美智子 楠成子(都)
カウンスルNo.7	深澤志津子(鳥取)
カウンスルNo.8	桜井慶子(東京) 遠藤万寿美 今井千代子 小林以登 中村治子 山本光子(青山)

### 30年継続会員

カウンスルNo.1	石川浩子(名古屋)
カウンスルNo.2	小倉百合子 マヒン・モグベル 野田絢子(神戸) バルク良子(神戸)

### 35年継続会員

カウンスルNo.3	江藤万里子(関西)
-----------	-----------

## 謝辞

大会コーディネーター 園田容子  
コ・コーディネーター 長澤久子

Eメールという時間を選ばないコミュニケーション手段を主として、一年間多くの言葉を交わし準備された今大会も終わりを迎えました。

皆様、充分にお楽しみいただけましたでしょうか。

今期は会長はじめ役員会よりの明確な指示のもと、私達コーディネーターはいかに正しく効果的に伝達するかが大きな課題でした。特別なことの多い年でした。準備委員会の中には、19の委員会があり各委員長はじめ多くの方々に手や頭や心をたくさんお使いいただきました。本当にご苦労様でした。

そして、ここに集い、会を盛り上げて下さいましたお客様、会員の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

ポートピアホテルの方々にもお礼申し上げます。本当に日々変わる内容や、わがままに充分答えていただきました。

頼りないリーダーをサポートして下さいましたすべての方にお礼申し上げます。

『海の碧』のような深い思いをどうぞお持ち帰りください。



～年次大会を終えられた直後に、リージョン役員の皆様から一言いただきました～

- ◎20周年年次大会が、会員の皆様の中に特別に何かを残す事が出来たとしたならば、その成功を嬉しく思います。何かにつけて過渡期の処理を実行しなければならぬ期にあたり、会長としてやり甲斐のある一年を過ごさせて頂きましたことを感謝致します。 (泉和子会長)
- ◎就任して改めて役職の意義を実感し、今は一抹のノスタルジアを覚えます。 (村上令子次期会長)
- ◎感謝の一年でした。会長始め各役員、プログラム委員の皆様のお優しい人柄に守られ助けられて充実した日々を過ごさせていただきました。ありがとうございました。 (入江笑子第一副会長)
- ◎ホームページ作成、20周年記念大会の特別の準備など仕事は多かったです。106名の新入会員を迎えることができ、気持ちよい役員会の雰囲気の中で、充実した面白い一年でした。 (柳川公子第二副会長)
- ◎大会が終わってもホットできない辛さ！書記の三要素の迅速・正確・簡潔は永遠の課題となりそうです。パソコンにチャレンジ！会員の温かさに感動！とても充実した1年でした♪ (立野知津子書記)
- ◎会長の行き届いたリーダーシップのもと、役員会は斯くあるべきと大変よい勉強をさせて頂いた感謝の一年でした。今から多忙をきわめる会計の仕事に暑さと戦いながらひと汗流すことでしょう (杉山満佐子会計)
- ◎役員の方々とお互い助け合いながら忙しくも楽しい一年でした。必要に迫られてパソコンの実地訓練ができたのも一つの収穫です。一方、家の中は片付かないままの一年でした。 (盛田純子議会法規)
- ◎ITC や日本リージョンの変化が事務局にも影響を及ぼした一年でした。期末には事務所の移転という大変化も起こりました。 (片桐寛子事務局長)

訂正： 会報3号 P8 姫路クラブ 2000年9月1日・2日→2001年  
2000年10月19日 →2001年

**日本リージョン 第20期 補正予算書**  
**The 20th Japan Region Budget 2001.8.1-2002.7.31**

**収入の部 Revenues**

科目 Subject	予算額 Budget		備考 Remarks
	¥	\$	
前期繰越金 Balance Brought for Forward	4,513,351		
年会費 Dues	8,795,000	175	\$ ITC小切手
新入会員 New Members	312,500		5,000円×1,759人
寄付金 Donation	2,000,000		5,000円×50人, 2,500円×25人
利子・雑収入 Interest & Miscellaneous Income	10,000		中内財団
合計 Total	15,630,851	175	

**支出の部 Expenditures**

科目 Subject	予算額 Budget		備考 Remarks
	¥	\$	
会報印刷代・送料 Bulletin Printing & Postage	1,950,000		含 国外送料、消費税
コミュニケーション印刷 Communicators Printing	500,000		
事務局運営費 Office Operation Expenses	2,500,000		
交通費 Transportation			
選出役員 Officers	420,000		含 宿泊費補助
任命役員 Appointed Officers	130,000		
委員会交通費補助 Committee Members Subsidy	650,000		委員長は全額、委員は半額、含CMT交通費
役員活動費 Officers' Activity Expenses			
会長 President	80,000		
次期会長 President-Elect	30,000		
第一副会長 1st Vice President	80,000		
第二副会長 2nd Vice President	20,000		
書記 Secretary	55,000		
会計 Treasurer	40,000		
議会法規役員 Parliamentarian	10,000		
編集者 Editor	50,000		
役員会会場費 Meeting Room	35,000		2,000円×10回他
配布資料 Region Mails	100,000		E-mail活用につき減額
常任委員会活動費 Standing Committee Expenses			
資格認証 Accreditation	5,000		
会計監査 Audit	5,000		
予算・財務 Budget & Finance	5,000		
会則・決議 Bylaws & Resolutions	20,000		
大会準備 Conference Planning	2,000,000		
選挙 Election	5,000		
増設 Extension	40,000		
国際交流 International Relations	30,000		
会員 Membership	3,000		ホームページ作成他
指名 Nominating	20,000		
プログラム・教育 Program & Educations	50,000		
広報 Public Relations	60,000		ITCリーフレットの作成
スピーチコンテスト Speech Contest	70,000		
特別委員会活動費 Special Committee Expenses			
派遣員資格確認 Credentials	5,000		
ITC基金 ITC Endowment Fund	3,000		
コンピュータシステム Computer System	20,000		
20周年沿革史活動 Historical Records of 20th Years	60,000		
組織運営研究 Study of Organization Management	10,000		
通信書記 Correspondent	5,000		
増設補助 Extension Subsidy	30,000		
役員研修費 Officers Training	150,000		
CMT出席者補助 CMT Attendance Subsidy	620,000	175	CMTの会場費・資料費の補助 カウンスル役員、委員長に交通費補助
物品購入費 Purchase of Materials	45,000		
役員就任式 Instillation of Officers	10,000		
ITC大会出席者補助 Convention Attendance Subsidy	150,000		会長、次期会長、スピーチ優勝者
20周年記念事業費 The 20th Anniversary Enterprise	3,000,000		記念品他
接待費 Hospitality	25,000		含 公式訪問者の記念品
慶弔費 Greetings & Condolences	10,000		
雑費 Miscellaneous Expenses	15,000		含 振込料
小計 Sub Total	13,121,000	175	
予備費 Reserve Fund	2,509,851		
合計 Total	15,630,851	175	

2002年4月22日

第20期予算・財務委員会 藤井次子、井上丹規子



## The 21<sup>st</sup> Century a Fresh Challenge



発行：2002年6月  
会報発行者：ITC日本リージョン

葛谷美紀子 岡島詠子 森 尉江 稲葉由利子 森川佐智子

印刷：(株)デスカ印刷 〒464-0086 名古屋市千種区萱場二丁目12番8号 TEL (052) 722-6525 FAX (052) 722-6527